

石巻赤十字病院



北棟 2015 年 10 月完成予定

所在地：〒986-8522 宮城県石巻市蛇田字西道下 71 番地
0225-21-7220
<http://www.ishinomaki.jrc.or.jp>

病院概要

病床数：452 床

一般：448 床、感染：4 床

診療科目：28 診療科

内科・神経内科・精神科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・腫瘍内科・外科・乳腺外科・呼吸器外科・心臓血管外科・脳神経外科・整形外科・形成外科・小児外科・産婦人科・小児科・耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科・泌尿器科・リハビリテーション科・麻酔科・緩和医療科・放射線診断科・放射線治療科・救急科・歯科

医療圏：石巻・登米・気仙沼医療圏 354,736 人（平成 26 年 12 月 1 日現在）

職員数：1068 名

医師数：130 名

看護師数：522 名

放射線診断医：2 名、放射線治療医：1 名

医学物理士：1 名

診療放射線技師：30 名（男性 19 名・女性 11 名）平均年齢：30.5

放射線技術課：27 名（内 3 名・石巻市立病院より派遣）

放射線治療課：3 名

認定技師取得者：14 名

認定内容：
・放射線治療専門技師 1 名
・マンモグラフィ認定技師 7 名
・第 1 種放射線取扱主任者 6 名

当直・夜勤体制について

2 交替制勤務（準夜・深夜勤 16：00～0：30・0：30～9：00）

休日の日勤：2 名 準夜・深夜勤：2 名

入院一日平均患者数：432 人

外来一日平均患者数：1070 人

紹介率：84.1%、逆紹介率：97.4%

救急車応需率：98.6%（2014 年 12 月現在）

導入機器

一般撮影

担当技師：26 人 機器台数：4 台

導入メーカー・機器名：島津メディカル・RADIOTEX

富士メディカル・FCR Speedia、Velocity

1 日平均撮影件数：350 人



マンモグラフィ

担当技師：10人 機器台数：1台
導入メーカー・機器名：シーメンス・MAMMOMAT Inspiration
1日平均撮影件数：24人



ポータブル

担当技師：26人 機器台数：5台
導入メーカー・機器名：日立メディコ・シリウス 130HP 3台
島津メディカル・MobileDart Evolution 2台
1日平均撮影件数：50人



CT

担当技師：26人 機器台数：2台（内 64列：2台）
導入メーカー・機器名：シーメンス・SOMATOM Definition AS+
東芝メディカル・Aquilion CXL
1日平均撮影件数：90人
ワークステーション：ザイオソフト・ziostation2
クライアントPC(VGR) 7台



MRI

担当技師：12人 機器台数：1台（内 1.5T：1台）
導入メーカー・機器名：シーメンス・MAGNETOM Avanto 1.5T
1日平均撮影件数：20人



SPECT

担当技師：6人 機器台数：1台
導入メーカー・機器名：シーメンス・e.cam spect
1日平均撮影件数：7人



PET なし

血管造影（心カテ、頭部血管、腹部血管などすべて含む）

担当技師：26人 機器台数：2台
導入メーカー・機器名：シーメンス・Angiostar Plus
東芝メディカル・Infinix CB
1日平均撮影件数：6人



透視装置

担当技師：16人 機器台数：2台
導入メーカー・機器名：島津メディカル・SONIALVISION
島津メディカル・ZS-32B
1日平均撮影件数：35人



放射線治療

担当技師：4人 機器台数：1台
導入メーカー・機器名：バリアン・CLINAC 21EX, エレクタ・XIO
1日平均照射件数（人）：30人



ESWL

担当技師：3人 機器台数：1台
導入メーカー・機器名：ドルニエ・DELTA
平均治療件数：1人/週



骨密度

担当技師：26人 機器台数：1台
導入メーカー・機器名：GE・Achilles inSight
1日平均撮影件数：4人

当院の新しい業務の取り組みや業務改善の紹介

放射線部ではここ数年、新人スタッフを含めて5～7人のグループを作りQC活動に取り組んでいます。身の回りにある問題や課題を見つけて、QC的手法を活用して解決を図り、継続的に改善活動することによってより質の高い医療の提供をめざすよう取り組んでいます。スタッフの全てが日ごろから意識して業務に取り組み向上を目指しています。

一昨年に取り組んだ活動で「一般撮影マニュアルの作製」があります。これは、急な人員増加による問題があったからです。移転当時に13名だった技師数が、今では30名になり、この8年間で既卒11名、新卒12名が採用になっています。既卒者は即戦力として入ってくるため一般撮影に関する細かい指導はしていませんでした。フィルムレスになって気づいたことですが、6切・4切・半切の縦横の使い方、被写体の写しこみの位置・方向、マークの入れ方などが意外に少しずつ異なっていました。X線の入射角が5～10度違う撮影法もありました。フィルムレスによって過去画像の参照が容易になったことでマークの位置や画像サイズに違いが出ると見つらいことに気づかされます。そこで、診察時やカンファレンスで参照しやすい画像を提供できるように標準化を図り、共有することに取り組みました。ほかにも、「検査待ち時間の短縮」「撮影室内の備品の整備」「CRのIP管理」「停電時のマニュアル作製」等の活動があります。

新卒者の教育についてはプリセプターシップを導入しています。3～4年目の先輩技師が技術的指導だけでなく、精神的な疲労や悩みなども気かけながらサポートしています。12月末には夜勤業務（救急業務）ができるように、一般撮影、ポータブル、CT、IVR、心カテ、MRI（頭部・頸椎のみ）、オペ室イメージ等の技術習得を学んでいきます。それから、医療安全や感染対策などの研修にも参加して医療人としての基礎を築いていきます。

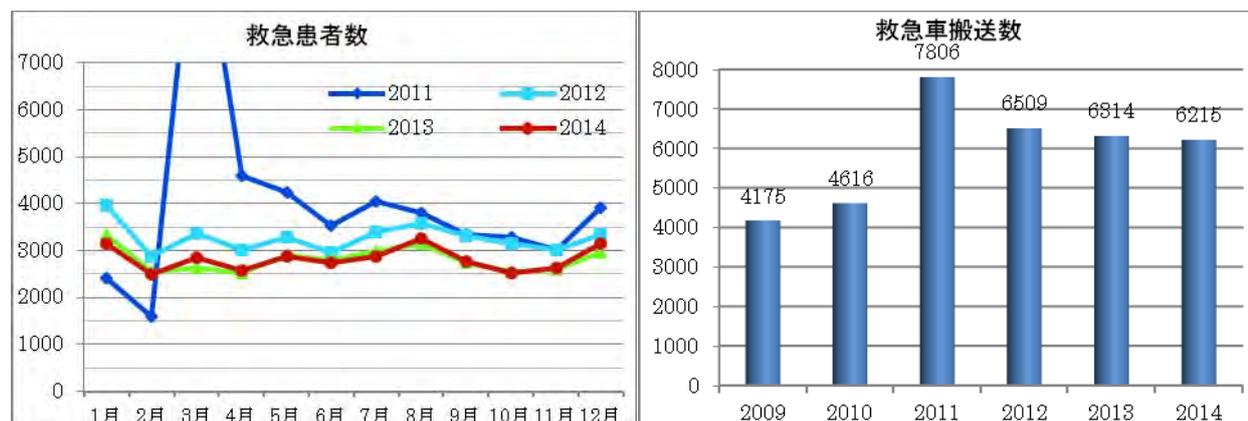
ここ最近5年間の放射線科の移り変わり

2006年5月に現在地へ移転新築してフィルムレス運用を開始しています。電子カルテはSSI、PACSは横河電機、高精細モニターはEIZO 2Mカラー107台です。RISも導入になり進捗状況や過去画像が参照できるようになり、患者対応が飛躍的に向上したように感じました。移転後ようやく落ち着いてきた2009年ごろに2交代制への移行の打診があり、数年後に移行する予定で計画を立てていました。2011年3月東日本大震災が発生し、長期にわたる災害医療の実践を経験しました。職員の半数以上が被災者でしたが、赤十字職員としての責務を全うできたことに誇りを感じ、日本赤十字社のつながりのすばらしさを改めて知ることができました。5月の連休明けから通常業務へ移行しましたが、救急業務が主体の毎日で業務に追われるように時間が過ぎていきました。当時CT装置は1台（16列CT）だけで、毎日70～80件の検査をしていました。CT、MRの検査予約待ち日数はともに1か月以上になり、日勤帯での問い合わせの電話が多くて対応に苦慮していました。検査待ち日数対策として、土曜日に各診療科Dr.の協力をもらい、外来患者の造影CT検査を行っていました。2012年2月には前倒して2交代制に移行して、日勤帯と同じように準夜・深夜帯でも多くの救急患者が来ていたため、その対応に当たっていました。

現在の救急患者数は落ち着いた感じがありますが、震災前の約1.5倍を推移しています。震災前は約60人/日でしたが、現在は約90人/日となっています。

2015年10月に増築棟（北棟）が完成予定です。1Fは救命救急センターと救急病棟、2FはICUとHCU、3Fは重傷病棟となります。救急初療室の前にCT室と一般撮影室を設け、より早い対応ができるように整備されています。現在のアンギオ装置も2台更新され、さらにIVR-CTが1台増設されます。また、増築棟完成後に既存棟の改築が予定されており、3T MRIが増設されます。

それに向けて準夜勤2名、深夜勤2名での体制を整え、連携を強めてより質の高い医療を提供できるように努力したいと思います。



地元紹介

石巻市の人口は、広域合併の当時約 21 万人でしたが、現在では約 15 万人となっています。東日本大震災により行方不明の方や登録住所から離れて避難生活をしている方等が相当数含まれていると予想されます。石巻市は旧北上川の河口に位置し、金華山沖（三陸沖）は黒潮と親潮がぶつかる世界三大漁場の 1 つとなっており、全国でも有数の水産都市となっています。



市は漫画を生かした街造りに取り組んでおり、石巻駅から石ノ森漫画館までの道「マンガロード」では数々の石ノ森章太郎作品のキャラクターを見ることができます。さらに東方八足を延ばすと宮城県慶長使節船ミュージアムのある「サン・ファン館」へとつながります。船に乗ればマンガアイランドの田代島へ行けます。最近では猫神様がある「猫の島」としても有名です。

サン・ファン館にほど近い万石浦や荻浜では牡蠣の養殖が盛んで新鮮な牡蠣が食べられます。種牡蠣の輸出も多く、世界の食用牡蠣の 80%は石巻にルーツを持つとも言われています。また、水産加工品業者の立地が多く、特にたらこ加工生産量は日本一の町でした。震災で大打撃を受けましたが、再建する店も徐々に増えています。港町ならではの新鮮な魚介類をササニシキでにぎったお寿司は絶品であり、地酒である日高見や弁慶岬の純米大吟醸酒とともにいただくと格別です。ほかにも笹かまぼこ、石巻焼きそば、金華さば、雄勝のホタテ、鯨の大和煮、サバだしラーメン等おいしいものがたくさんあります。

年ごとに参加者が増加している「ツール・ド・東北」は人気が高く、各エイドステーションに用意しているその土地の名物は疲れた体と心を癒してくれます。東北の魅力と復興への道のりを感じてもらえるサイクルイベントとなっています。

2015 年 5 月には仙石線も開通予定ですので、アクセスも良くなります。仙台、松島へお越しの際にはぜひとも石巻へもお寄りください。



最後に誌面をお借りして、これまでの多くの御支援、御協力に対して心から感謝申し上げます。